

2021年4月12日

植物由来の生分解性樹脂コンパウンド『FORZEAS™』
海洋生分解性試験において1年間で約90%分解
～レジ袋として初めて大分県中津市のNPO法人中津まちづくり協議会に採用～

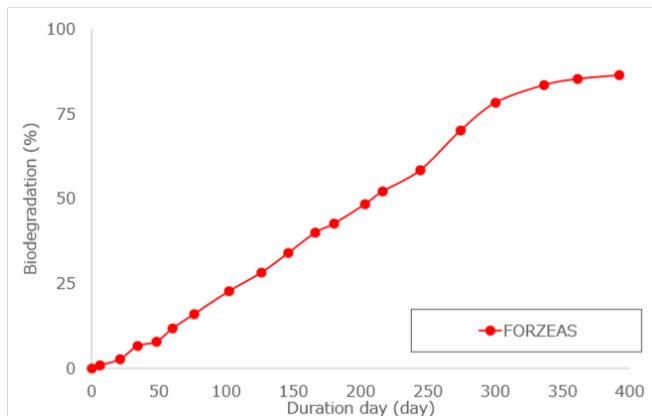
三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、植物由来の生分解性樹脂コンパウンド「FORZEAS™（フォゼアス）」を用いたフィルムが、かねてより実施して参りました海洋生分解性の試験において1年間で約90%分解された※という結果が得られましたのでお知らせいたします。

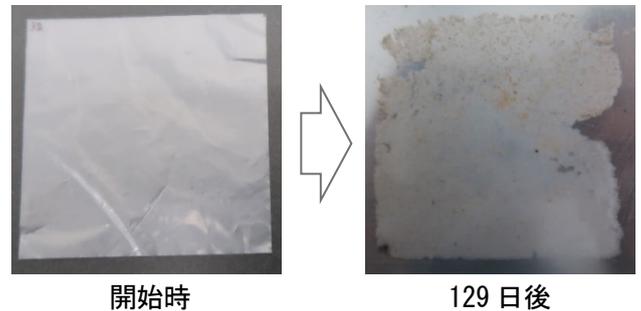
【評価概要】

試験方法	国際基準 ISO に準拠した試験を第三者機関にて実施
試験対象	FORZEAS™ (BioPBS™ を使用した樹脂コンパウンド) で製膜した厚さ 25 ミクロンのフィルム (試料提供：株式会社キラックス)
結果	1年間で約90%の分解を確認

生分解度の推移



フィルムが分解されていく様子



また、今回海洋生分解性が確認されたグレードを使用したレジ袋が大分県中津市の NPO 法人中津まちづくり協議会に採用されました。レジ袋としては初めての採用となり、本年4月から当該協議会の会員事務所や市内の小中学校に配布されます。



NPO 法人中津まちづくり協議会に採用のレジ袋

製造元：株式会社キラックス

昨年7月から開始されたレジ袋有料化をはじめ、プラスチックに対する環境配慮への要求がますます高まっています。当社では、今回の試験結果及び中津まちづくり協議会への採用を足掛かりに、引き続き地方自治体や小売店で取り扱われるレジ袋やごみ袋、その他食品包装材等シングルユースのプラスチック製品への採用拡大に向けて取り組んでまいります。

※ 一部の製品グレードでの試験結果となります。

以上

お問合せ先 三菱ケミカル株式会社 広報本部 TEL 03-6748-7161
--